

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	岩手県八幡平市		代表者名	佐々木 孝弘	
担当者部署	商工観光課		連絡先電話番号	0195-74-2111	
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	中軽米 真人	連絡先E-mail	*****
住所	028-7397 岩手県八幡平市第1地割170番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	安江 輝
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	安江輝アドバイザーの実績に基づく助言は非常に印象的でした。地域住民やステークホルダーとの円滑なコミュニケーションを確保することによって、多くのプロジェクトをスムーズに進行させた点や、ITや地域振興に関する深い知識と経験を持ち、伊那市のモバイルクリニックのプロジェクトを推進した際の課題点など、非常にシナジーの高い話題提供を行っていただいた。
アドバイザーへの要望事項	非常に参考になる話題提供をいただきました。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年9月26日	支援・助言(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			13時00分	16時00分	10
			活動時間（分）	170	
3-2. 派遣場所	会場名	八幡平市役所ホール棟	最寄駅	JR北森駅	
	所在地	八幡平市野駄第21地割170番地	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	八幡平市メディテックバレーシンポジウム参加者等	100人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	2020年度からスタートしてきた本事業は地域内では一定の成果を挙げ、対外的にも企業向けでは利活用が広がっているにも関わらず、この2年間で遠隔診療と遠隔見守りを同時に実現する当市で開発したスキームが横展開されたのは、これまでのところ山口県平群島の1事例のみにとどまっている。本事業の成果を他地区へと拡大することを企図しているが、果たしてどのような展開・訴求をしていくべきなのか。事業者ではない、自治体職員の立場からの助言を必要としている。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	八幡平市と同時に地方創生推進交付金Society5.0タイプに採択され、中山間地域の過疎地という類似条件の長野県伊那市において同事業の推進役を担っている安江氏を、八幡平市メディテックバレープロジェクトの現在地である成果と、未来に向けてどのように進んでいくのかを考えるシンポジウムへ招聘し、他自治体の立場からどのような方向性へ進めばより多くの市町村へと広がっていくことができるのか、助言をいただきたいというもの。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	伊那市はハードウェア偏重型のプロジェクトとして進んでいるが、八幡平市はソフトウェアに重点を置いた推進をしてきている。この両者の提携により、新たな展開を模索できるのではないかと。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	解決に向けた糸口をつかむことができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 本年度のプログラムには5人の登壇者がおり、各登壇者からの専門的なフィードバックと議論が活発に行われたことから、直接的な情報共有が充分に行えるものと判断したため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	地域に遠隔診療と見守りのDX基盤を実装し、持続可能な医療と福祉の体制を構築する。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

